

平成28年度七ヶ宿町 統一モデル財務書類(要約版)

単位 (千円)

貸借対照表

資産の部	普通会計	単体会計	連結会計	負債の部	普通会計	単体会計	連結会計
1. 公共資産				1. 固定負債			
(1) 事業用資産	4,252,701	4,607,460	11,787,592	(1) 地方債	1,646,290	1,975,453	10,006,388
(2) インフラ資産	2,627,134	2,627,134	2,629,961	(2) 退職手当引当金	710,120	745,437	1,205,640
				(3) その他	0	0	694,960
2. 投資等				2. 流動負債			
(1) 投資及び出資金	140,723	140,723	140,915	(1) 翌年度償還予定地方債	174,782	305,845	1,092,700
(2) 貸付金	0	0	0	(2) 災害損失引当金	0	0	0
(3) 基金等	2,628,234	2,668,680	2,916,608	(3) その他	51,772	54,735	888,788
3. 流動資産				負債合計	2,582,964	3,081,470	13,888,476
(1) 資金	317,908	346,060	402,276	純資産の部	普通会計	単体会計	連結会計
(2) 未収金	100,204	120,126	877,223	純資産合計	7,483,940	7,428,713	4,866,099
資産合計	10,066,904	10,510,183	18,754,575	負債及び純資産合計	10,066,904	10,510,183	18,754,575

純資産変動計算書

	普通会計	単体会計	連結会計
期首純資産残高	7,579,197	7,506,242	5,652,241
本年度差額	-102,002	-84,274	-792,898
純経常行政費用	-2,190,409	-2,711,974	-4,423,324
財源	2,088,407	2,627,700	3,630,426
固定資産等の変動	6,745	6,745	6,756
資産評価額	0	0	0
無償所管替等	6,745	6,745	6,756
その他	0	0	0
期末純資産残高	7,483,940	7,428,713	4,866,099

行政コスト計算書

	普通会計	単体会計	連結会計
経常費用 合計	2,305,324	2,867,184	9,284,504
1. 人にかかるコスト			
(1) 人件費	455,544	518,550	3,710,348
(2) 退職手当引当金繰入等	0	0	0
2. 物にかかるコスト			
(1) 物件費・経費	541,185	753,786	2,694,483
(2) 減価償却費	322,239	336,251	1,074,105
(3) 維持補修費	225,241	319,571	353,178
(4) 災害損失引当金繰入	0	0	0
3. 移転支出的なコスト			
(1) 他会計への支出	293,747	0	0
(2) 補助金等	432,787	887,631	899,736
(3) 社会保障給付	19,127	20,306	354,081
4. その他のコスト			
(1) 公債費(利払)	15,454	31,089	198,572
経常収益 合計	114,915	155,210	4,861,180
使用料・手数料等	22,089	53,409	4,470,184
その他	92,826	101,801	390,996
純経常行政コスト (経常費用 - 経常収益)	2,190,409	2,711,974	4,423,324

<<総括>>

単体会計での資産合計が10,510百万円、負債が3,081百万円となり、資産と負債の差額である純資産は7,428百万円となっております。これは、これまで蓄積した財産の合計のうち、70.6%は返済の必要が無い税金や国・県など(過去世代の負担)の支出金で蓄積したことを表し、29.4%は将来世代の負担(公債など)をもとに財産を蓄積したことを表します。

資産全体の約3/4を過去世代の負担で賄っており、健全に運営されていると取ることが出来ます。

また、インフラ資産2,627百万円を除いた実質的な資産総額は7,883百万円となりますが、こちらも負債の総額3,081百万円を大きく上回っております。

平成28年度は固定資産の再評価(台帳作成)があったため、資産の総額や内訳に変動がありました。また28年度より統一モデルに移行したことにより、主に純資産変動計算書の項目が変更になりました。

連結会計ベースで見ると、資産の合計金額が18,754百万円と単体会計に比べ8,244百万円増加、純資産の金額は4,866百万円と単体会計に比べて2,562百万円の減少となっております。

連結会計ベースでは、資産額は増えているが、純資産額は減少しており、主に債務超過の病院の影響で連結決算の数値が悪化しております。

資金収支計算書

	普通会計	単体会計	連結会計
1. 業務活動収支	128,781	155,286	193,182
2. 投資活動収支	173,934	182,973	739,342
3. 財務活動収支	-46,473	-68,257	-606,306
当期収支	256,242	270,002	326,218
期首資金残高	61,666	76,058	76,058
期末資金残高	317,908	346,060	402,276

基礎的財政収支 (経常的収支 + 公共資産整備収支)	普通会計	単体会計	連結会計
	302,715	338,259	932,524

※普通会計とは、一般会計、介護サービス特別会計、町営バス特別会計、ダム会計を合算したものです。

※単体会計とは、普通会計と全ての特別会計を合算したものです。

※連結会計とは、単体会計と関係団体(第三セクター・一部事務組合・広域連合等)を合算したものです。

連結対象団体: 仙南地域広域行政事務組合、七ヶ宿観光開発株式会社、白石市外二町組合
宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合、宮城県市町村職員退職手当組合
宮城県市町村自治振興センター、後期高齢者医療広域連合

※各数値は千円未満を四捨五入して表示しているため、合計額が一致しない場合があります。